

令和5年度 第31回御幸公園梅香事業推進会議 摘録

日時	令和5年11月20日（月） 14:00～15:00																																																		
場所	幸区役所4階 第1会議室																																																		
議題	<p>1 議題について</p> <p>(1) うめかおる写真展及び川柳コンクールについて（地域振興課） 資料1</p> <p>(2) 令和5年度観梅会の実施について（企画課） 資料2</p> <p>(3) 令和5年度観梅会チラシデザインの作品選考について（企画課） 資料3</p> <p>(4) 御幸公園施設整備について（道路公園センター整備担当） 資料4</p> <p>(5) うめかおる寄附・募金について（総務課） 資料5</p> <p>(6) 歴史・文化の伝承に関する取組について（生涯学習支援課） 資料6</p>																																																		
出席者	<p><input type="checkbox"/>委員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">幸区町内会連合会</td> <td style="width: 33%;">中川 潔</td> <td style="width: 33%;">委員長</td> </tr> <tr> <td>幸観光協会</td> <td>加藤 邦彦</td> <td>副委員長</td> </tr> <tr> <td>幸区町内会連合会</td> <td>齊木 敏雄</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>小向仲野町新生会</td> <td>小林 則男</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>幸区老人クラブ連合会</td> <td>泉 宣枝</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>幸区文化協会</td> <td>山田 益男</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>御幸中学校校長</td> <td>吉村 尚記</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>西御幸小学校校長</td> <td>柴田 薫</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>川崎総合科学高等学校校長</td> <td>濱野 雄功</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/>顧問</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">幸区長</td> <td style="width: 33%;">赤坂 慎一</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/>関係者</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">副区長</td> <td style="width: 33%;">寺澤副区長</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>総務課</td> <td>茂木課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画課</td> <td>日野課長、林課長補佐、大野職員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域振興課</td> <td>櫻井課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生涯学習支援課</td> <td>加藤課長</td> <td></td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/>事務局</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">道路公園センター</td> <td style="width: 33%;">沼田所長（事務局長）、栗山担当課長、山口担当課長、浅見担当係長、荒担当係長、山口主任、神保職員、峯職員</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table>			幸区町内会連合会	中川 潔	委員長	幸観光協会	加藤 邦彦	副委員長	幸区町内会連合会	齊木 敏雄	委員	小向仲野町新生会	小林 則男	委員	幸区老人クラブ連合会	泉 宣枝	委員	幸区文化協会	山田 益男	委員	御幸中学校校長	吉村 尚記	委員	西御幸小学校校長	柴田 薫	委員	川崎総合科学高等学校校長	濱野 雄功	委員	幸区長	赤坂 慎一		副区長	寺澤副区長		総務課	茂木課長		企画課	日野課長、林課長補佐、大野職員		地域振興課	櫻井課長		生涯学習支援課	加藤課長		道路公園センター	沼田所長（事務局長）、栗山担当課長、山口担当課長、浅見担当係長、荒担当係長、山口主任、神保職員、峯職員	
幸区町内会連合会	中川 潔	委員長																																																	
幸観光協会	加藤 邦彦	副委員長																																																	
幸区町内会連合会	齊木 敏雄	委員																																																	
小向仲野町新生会	小林 則男	委員																																																	
幸区老人クラブ連合会	泉 宣枝	委員																																																	
幸区文化協会	山田 益男	委員																																																	
御幸中学校校長	吉村 尚記	委員																																																	
西御幸小学校校長	柴田 薫	委員																																																	
川崎総合科学高等学校校長	濱野 雄功	委員																																																	
幸区長	赤坂 慎一																																																		
副区長	寺澤副区長																																																		
総務課	茂木課長																																																		
企画課	日野課長、林課長補佐、大野職員																																																		
地域振興課	櫻井課長																																																		
生涯学習支援課	加藤課長																																																		
道路公園センター	沼田所長（事務局長）、栗山担当課長、山口担当課長、浅見担当係長、荒担当係長、山口主任、神保職員、峯職員																																																		
欠席	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">株式会社東芝 小向事業所</td> <td style="width: 33%;">中村 大樹</td> <td style="width: 33%;">委員</td> </tr> <tr> <td>幸区町内会連合会</td> <td>金井 弘年</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>幸区子ども会連合会</td> <td>神谷 厚子</td> <td>委員</td> </tr> </table>			株式会社東芝 小向事業所	中村 大樹	委員	幸区町内会連合会	金井 弘年	委員	幸区子ども会連合会	神谷 厚子	委員																																							
株式会社東芝 小向事業所	中村 大樹	委員																																																	
幸区町内会連合会	金井 弘年	委員																																																	
幸区子ども会連合会	神谷 厚子	委員																																																	
傍聴者	0人																																																		
決定事項	各課からの議題については、一部を除き提案のあったとおり進めることとする。																																																		
<p>（事務局から次の事項を説明し、了承を得た）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎市審議会等の会議の公開に関する条例における会議公開の対象となっているため、傍聴を許可していること。 ・ 行政の記録や市政だより等への資料のため、写真撮影を行うこと。 ・ 会議録を作成するため、会議終了まで議事を録音すること。 																																																			

I 委員長挨拶

日頃より御幸公園梅香事業推進会議に御協力いただきありがとうございます。10月20日と21日に幸区民祭を盛大に開催することができました。快晴のもと多くの区民の皆様にご来場いただきました。誠にありがとうございました。約10万7千名の方が来場されたと聞いています。

来年は市制100周年にあたります。また、全国都市緑化かわさきフェアも開催されます。その皮切りとして観梅会の成功が結びつけば、大変うれしいことと考えております。

昨年度に植樹が終了しました。これからの課題は、どのようにして御幸梅林の維持管理をしていくかと、梅の実これは梅の実だけでなく梅の木をどう活用していくかということだと思います。梅の実と梅の木の活用に関しては、もっと近隣の小学生や学生たちの社会勉強の材料にするようなことが模索できるのではないかと考えています。

今日の推進会議は観梅会前の最後の会議になります。その点も踏まえて、本日は皆様方の御審議をよろしくお祈りいたします。

II 議題

議題1 うめかおる写真展及び川柳コンクールについて（地域振興課）【資料1】

1. 事業計画

(1) 令和6年度うめかおる写真展について

- ・ 作品募集期間：令和6年1月9日（火）～2月22日（木）
- ・ 昨年度は93点の応募があった。
- ・ 区長賞等の授与：令和6年3月下旬（予定）

(2) 川柳コンクールについて

- ・ 昨年度までは校章に梅の花のデザインが用いられている、5校（南河原小・御幸小・西御幸小・戸手小・古川小）の児童に依頼してきたが、**今年度は対象を広げ、幸区内の全小学校13校に参加を依頼する。**
- ・ テーマは、昨年度までは「幸区と梅」で募集していたが、今年度は「梅」「公園」「緑」「花」といった幅広いテーマで募集する。

2. 質疑や意見

（昨年度との違いについて）

委員長：昨年度との違いは何か。

櫻井課長：うめかおる写真展については例年通り。川柳コンクールについては募集の対象を5校から幸区の全小学校13校に拡大した。

3. 令和5年度の事業計画について

委員長：この件についてはこのような形で実施を進めますがよろしいでしょうか。

委員一同：了承しました。

議題2 令和5年度観梅会の実施について（企画課）【資料2】

1. 事業計画

(1) 令和5年度観梅会（梅まつり）の実施計画について

- ・ 昨年度は、強風のなかでの開催になった。今年度は、昨年度の強風の影響を踏まえ、イベント実施場所の変更を予定している。

(2) 1日イベント

（開会式について）

- ・ これまで式典を行っていたが、昨年度でうめかおる寄附が終了したことに伴い、寄附者への贈呈式を行う必要がなくなったことから、式典に代わって開会式を行う。

（植樹式について）

- ・ 三溪園からいただいた枝を接ぎ木した苗木を補植するセレモニーの実施を検討する。

(学習発表について)

- ・ 日頃から総合科学高校ボランティア部に御協力いただいていることから、その成果物や取組内容を展示する。展示場所は御幸球場のフェンス部分を考えている。

(演奏等（小向獅子舞、和太鼓、吹奏楽、演舞）について)

- ・ 昨年度、強風が土手方向から吹いていた。これを踏まえ、これまで土手側に設定していた演奏場所を今年度はグラウンド側に変更し、丘から見下ろす形で鑑賞していただくことを予定している。

(野点茶会について)

- ・ 昨年度の茶会の場所は強風の影響を強く受けたので、茶会の場所を倉庫と多摩川管理事務所が入っている建物の間に変更する予定。なお、文化協会の皆様の準備場所は、倉庫内を想定している。

(寄席について)

- ・ 落語家の都合がつかないため、実施は見合わせる。

(球場プレイパークについて)

- ・ 昨年度は、幸区盛り上げ隊とプレイグリーン推進協会が、「プレイグリーンパーク」を開催したが、今年度はプレイグリーン推進協会に別の予定が入っているため、幸区盛り上げ隊が親子向けの遊びなどを企画・実施する。

2. 質疑や意見

(文化協会と川崎総合科学高等学校お茶クラブとのコラボ企画等について)

山田委員：昨年度の強風を踏まえていただきありがとうございます。文化協会が茶会の準備をする倉庫の中には水道設備はあるのでしょうか。また、以前、川崎総合科学高等学校お茶クラブの皆さんとのコラボという話がありましたが、進んでいるのでしょうか。

日野課長：倉庫内に水道設備はありません。洗い場等にはホースの利用を考えています。今後、文化協会の皆様と調整します。高校生とのコラボもこれからの調整になります。もし、文化協会の方で御要望があれば、川崎総合科学高等学校の先生とは、既にやり取りをさせていただいているので、それを踏まえて調整します。

山田委員：野点茶会の担当にこの話を伝え、今後調整します。

(野点茶会の場所の変更について)

委員長：今回案として示された野点茶会の場所は、確かに屋外で平らな場所だが、(会場の)端の端なんですよ。やっぱり野点茶会は、梅に囲まれたところでやったほうがいい。梅を観ながらお茶を飲みたいというのが普通の感覚。文化協会と検討してほしい。

日野課長：その点については、再度文化協会と検討します。

委員長：この場所は、他で風が吹いていなくとも風が吹く場所なので、ある程度風が強いのはしょうがない。ある程度の風が吹くことは、織り込み済みでやってください。

日野課長：野点茶会の場所は、もう一度検討します。

(キッチンカーについて)

委員長 : いつの間にかキッチンカーが来るようになった。ナンバーを見るとみんな横浜ナンバーだ。横浜ナンバーだからいけないということではないが、幸区のイベントであり、将来的に幸区の皆さんが出店しにくい雰囲気にならないように気をつけなければならない。イベントの出店には、そのようなことがよくある。コロナから回復して、今後、いろいろな人たちに余裕が出てくれば、近隣の人たちの中から、私たちもお手伝いしたいという人が必ず出てくる。そうなったときに、「私たちは以前から出店している」と言われかねない。現在は日吉商店街連合会の方に来ていただいているが、幸区には鹿島田地区の商店街の方もいる。こういったことは、既得権ではないので、いつでもフレキシブルに対応できるようにしておかねばならない。

日野課長 : そこも調整します。

(広報の方法について)

副委員長 : 広報は、範囲や対象などどのように実施するのか？私も観光に携わってきたので、内容は当然大事だが、広報がイベントの成功に大きな役割を果たすということを実感してきた。私たちは幸区の端のほうに住んでいるので、どうしても観梅会とは疎遠になってしまう。出来る限り広範囲に効果的な広報をお願いしたい。

副委員長 : 今回、川柳の対象範囲を幸区の全校に広げる取組は、(広報という意味合いにおいても)大変大きいと思っている。こういった取組は、小学校経由で広報を行ったときに役立つ。このようにお金をかけず効果的な広報をお願いしたい。

日野課長 : 市政だより 2月号の1面に観梅会を掲載する。校長会にも依頼して幸区の全児童にも案内する。併せて町内会にも御協力をお願いしたいと思っている。

副委員長 : 町内会という話がでたが、私たちも当然町内会に入っているが、広報といっても(行政の担当者から)いろいろな資料をただ渡されるだけというのが現実。役員に一言「こういった内容なのでお願いしたい」と言っていただくだけで、随分結果が違ってくる。我々住民も反省しなければならないが、広報をいただいても、だいたいが回覧する程度で、これはもう素通り。全部が全部ということではないが、町内会の役員に(配布する広報の)一部でも目を通していただき、こういう取組をやっていると分かっていたできるようにしてほしい。

(御幸中学校吹奏楽部の出演について)

吉村校長 : 昨年度は、観梅会に御幸中学校から吹奏楽部と演舞部を参加させていただいた。昨年度は、強風のなかで、吹奏楽部の演奏が大変だったと聞いている。2月という時期に吹奏楽部を屋外で演奏させることには中学校として非常にリスクがある。個人持ち楽器の家庭もあるし、譜面が飛ぶなか演奏もなかなか出来なかったようだ。今年度はできれば、吹奏楽部の演奏は辞めさせていただきたい。演舞は参加させていただきたいと考えているが、前日まで自然教室でスキーの宿泊学習に行っているため、一年生が多分来れない。このため、演舞は昨年度より小規模になる。

委員長 : 吉村校長が言われたことも確かだと思う。

吉村校長 : 吹奏楽自体、本来は、屋外で演奏するものではない。吹奏楽は室内で演奏するものなので、自然のなかで演奏することにはリスクがあり厳しいと思っている。

(観梅会の開催時期について)

委員長 : 温暖化と言いながら、来年の2月はどうなるか分からない。去年は、ほとんどの梅が咲いてしまっていた。だんだん梅が咲くのが早くなってきた。そういうことも加味しながらやっていかななくてはならない。

3. 令和5年度の事業計画について

委員長：これまで出た意見を考慮し、観梅会の準備を進めてください。

議題3 令和5年度観梅会チラシデザインの作品選考について（企画課）【資料3】

1. 事業計画

（1）令和5年度観梅会チラシデザインの作品選考について

- ・今年度も川崎総合科学高等学校デザイン科の生徒に5作品を応募いただいた。
- ・どれも甲乙つけがたい作品だと思っている。

2. 投票結果

作品	③	②	③	④	⑤
得票数	1	1	5	2	1

投票の結果③の作品に決定した。

議題4 御幸公園施設整備について（道路公園センター整備担当）【資料4】

1. 事業計画

（1）令和5年度の御幸公園整備について

- ・今年度の取組は、①ウメの補植、②パーゴラの日よけ設置、③梅林内の施設の補修の3つ。

2. 質疑や意見

委員長：今年は何本くらい枯れてしまったのか？

栗山課長：5本程度補植する予定です。

委員長：毎年、どのくらい出るのか？

事務局：今年から補植が始まります。今年5本補植します。そのうち数本は観梅会のセレモニーのなかで補植します。

（東京都大田区にある梅屋敷から御幸公園へ梅を移植することについて）

委員長：市の観光協会から東京都大田区にある梅屋敷の梅の挿し木をやったらどうかと相談されている。この件について、まだ、（大田区から）返答はないか？

事務局：現在のところ大田区から返答はない。観梅会までには、こちらから連絡したい。

委員長：観梅会にお越しになる来賓の方も、この件については気にしていच्छるようなので、そのときまでにはお答えできるよう準備を進めてください。

議題5 うめかおる寄附・募金について（総務課）【資料5】

1. 事業計画

（1）令和5年度の募金の受付状況について

- ・令和4年度にふるさと納税による寄附が終わったので、令和5年度から募金のみになった。現在までに集まった募金額1,402円の内訳は、主に区民祭のときに頂いたもの。普段から募金箱を1階に置いているが、ウクライナ等の他の募金箱と並んでいるためか、ほとんど募金が集まらないのが現状。
- ・募金箱の設置には篤志をもって協力しようという方たちの受け皿という側面がある。
- ・普段は募金箱を1階に設置しているが、イベントがあるときは積極的に募金箱を設置していきたい。もちろん観梅会ときも募金箱を設置する。篤志を集めるということで、引き続き市民の皆様に御協力をいただきたいと考えている。

2. 質疑や意見

(歳入の使い道について)

山田委員：平成29年度からこれまでの寄附・募金の総額は580万円と大変大きな金額だ。これまでこの基金をどういったものに使ってきたのか？それとも、まだ、そっくり残っていてこれから何かに使うものなのか？収支を聞きたい。

茂木課長：やや役所の会計的な話になるが、この580万円は貯金していたものではない。毎年々歳入という形でカウントし、それを梅香事業費に充当して使ってきた。

山田委員：現在ほどのくらい残っているのか？それとも全て事業費になっているのか？

茂木課長：（行政には）会計年度独立の原則があるので、毎年度使い終わっている。

(金銭的サポートと人的サポートについて)

委員長：寄附は残していかなければならないが、もう頼ることはできない。例えば特別会員という名称とするなど、サポートや有志が入れるような仕組みが出てこない、今後、幸区役所だけでこの御幸梅林を背負っていくには無理がある。これからは、やはり区民の皆様が梅林を育ててもらおうようになっていかななくてはならない。そう思うと、何かこれまでとは違うことを考えていかないと今後立ち行かなくなる。今日結論が出なくとも、来期くらいまでにある程度の方向性を模索していかなければならないと考えている。

茂木課長：今のお話を伺って、金銭的サポートから人的サポートに視野が広がったように感じました。人的サポートについては、担当部署があるので、それらの部署も含め今後検討したいと考えます。

委員長：必要なのは金銭的サポートと人的サポートの両方だと思う。金銭的サポートと人的サポートの両方がないと長い歴史を創ってはいけない。御幸梅林の維持管理には、それなりにお金が掛かる。そこを区民の皆様にとどのように理解していただくかが大切だ。御幸梅林は、これからもっともっと良くなる。それを維持していくのは非常に困難なので、今から考えていかないと間に合わなくなってしまう。

議題6 歴史・文化の伝承に関する取組について（生涯学習支援課）【資料6】

1. 事業計画

(1) 令和5年度の文化講演会について

- ・ 昨年度まで歴史をテーマとした歴史講演会を続けてきたが、今年度は新たに文化の伝承に関する取組を実施することにした。
- ・ 今年度は「おいしく学ぶ！梅香る食の文化と私たちの健^{けん}“幸”^{こう}」と題して、梅にまつわる食文化や梅の持つ効能などを、梅料理の実践を交えながら学ぶ機会とする。
- ・ 観梅会の時期に併せて実施することで、梅香事業全体への関心を高め、地域への愛着と誇りを育むきっかけにする。区内児童に対して広報し、親子での参加を呼び掛けるなど、**若い世代への働きかけを積極的に行う。**
- ・ 今年度は若い世代への働きかけとして内容を検討し、親子で参加できる梅を使った洋菓子作りを実施することにした。

2. 質疑や意見

特になし

その他 梅香サポーターとの取組について（道路公園センター協働利活用担当）

1. 事業計画

（1）梅香サポーターとの取組について

- ・ 区民祭で梅香サポーターの申込書をブースに置き、1名の方にお申し込みいただいた。この方を含め、現在12名の方に登録いただいている。
- ・ 7月に今年度1回目の梅香サポーターとの打ち合わせを行い、11月6日に2回目の打ち合わせを行った。2回目の打ち合わせには、3名の梅香サポーターに御出席いただき、今後の活動について意見を伺った。その際、2月の観梅会への参加を呼びかけた。
- ・ 次回の打ち合わせは観梅会に向けて1月中旬に行う予定。
- ・ 11月6日の2回目の打ち合わせの後、御幸公園の入口にある園名板周辺の花壇に梅香サポーターと職員でハボタンを植え付けた。ハボタンの植え付け作業は初めてということで、サポーターの方に大変喜んでいただいた。そのときの様子はホームページに掲載している。

2. 質疑や意見

- 委員長 : 梅香サポーターに予算はついているのか。
- 事務局 : 事務的な保険料や消耗品を購入する費用はついています、梅香サポーターにお支払いする費用はついていません。
- 委員長 : 先ほども話したが、有志が集まった場合、それなりの予算をつけなくてはならない。梅香サポーターは、その下準備だと私は理解していた。
- 事務局 : 夢見ヶ崎動物公園サポーターは、施設を維持するためにお金を集めていますが、こちらの梅香サポーターは、どちらかというとボランティアでお手伝いしていただくことがメインだと考えています。
- 沼田所長 : 梅香サポーターの皆様から、今後の活動について色々な意見を頂戴しています。最終的には、梅香サポーターに御幸梅林の維持管理を担っていただけるような存在になっていただければと考えています。
- 委員長 : 今回の活動は大変結構なことだと思いますが、ハボタンばかり植えられても。実際に、ボランティアで来ましたとあって、好きな花を植えたりすることがある。それは梅林としていかなものかと思う。そのあたりは行政の職員のほうがプロでしょうから、注意しながら進めてください。

Ⅳ その他

1 第32回御幸公園梅香事業推進会議の開催予定について

- 事務局 : 次回の御幸公園梅香事業推進会議は、令和6年2月17日（土）の観梅会に併せて開催します。

以上